

成果の一端示す

松本秀峰 1期生の進学状況発表



合格した大学名を校内に張り出す職員

松本市埋橋2の中高一貫校、松本秀峰中等教育学校は10日、第1期生の大学進学状況を発表した。東京大をはじめとした国公立、有名私立に多くの合格者を出した。菱田智晴教頭(52)は「あらゆる進路に対応できる。生徒の希望をかなえることができた」と胸を張った。

(八代げい子)

1期生は81人。10日現在、東大文科Ⅲ類、信大や新潟大の医学部医学科、東京医科歯科大歯学部歯学科など国公立に28人の合格者を出した。

私立は慶應義塾の経済学部と薬学部、早稲田の国際教養学部と先進理工学部、上智大の外国語学部などに50人以上が合格した。

同校は2010年4月、県内初の中等教育学校として開校。中学と高校を一体とした6年間の完全一貫教育、独自の建学精神やカリキュラムなどに注目が集まった。「先輩がいなかったため受験をイメージしにくかったが、6年間、じっくり自分の人生について展望できた。大学研修も積極的に行い、偏差値、模擬試験の結果といった数字に左右されることなく、一人一人が自分の進みたい道を追求できた」と菱田教頭。国公立の後期日程試験に挑戦する生徒もおり、結果は変動的だが東大、医学系、有名私立の合格者の割合を考えると、質の高い教育ができ、本校の成果の一端を示せた。来年度の入試から、入学希望者が増えるのではないかと話した。